

「コロナ禍2年を経てこれからの 教育DXのあり方に関する アンケート調査」について

重田勝介

(北海道大学情報基盤センター准教授)

アンケート調査の目的

- コロナ期（2020-2021年度）を経て教育のデジタル化が定着し教育DXに向かうのか？（もしくは元に戻るのか？）
- ニューノーマルにおいてどのような大学教育を目指すべきか？
- **教員、学生、教務系職員**に対して、**大学教育の現状と将来像**に関するアンケートを実施
- 今後の大学における**教育DXのあり方の検討**に活かす
- 教育DXシンポ運営ワーキンググループが**アンケート調査を実施**
 - 大学ICT推進協議会（AXIES） ICT利活用調査部会の協力
- **アンケートの概要を紹介 改善のためのご意見をいただきたい**

教員向けアンケート

- コロナ期に行われたオンライン授業によって、デジタルを活用した教育の可能性が認識され、**教育DXへの期待**が高まった
- 学生とのコミュニケーションの難しさや新たな教育技術への対応など、**インターネットを用いた教育の難しさ**が実感された
- **それぞれの教員**が、ニューノーマルに**どのような大学教育の姿**を目指すべきと**考えているか**を調査する



教員向け調査項目（1）全18項目

- **コロナ期において得たニューノーマルへの対応策を、現在どのように実施しているか？**
 - オンライン授業の実施状況
 - オンライン授業を実施するメリット・デメリット
 - LMSの利用状況と具体的な利用方法
 - コロナ期と比較したLMSを利用する頻度の増減
 - 講義映像などのコンテンツや学習ログの利用状況
 - 学部や学科間、他大学を跨いだ授業の増減

教員向け調査項目（2）全18項目

• ニューノーマルの教育体制のあり方

- オンライン教育やメタバースなどを用いた多様な学びのスタイルを提供すべきか？
- LMSの利用を促進すべきか？
- 講義映像などのコンテンツや学習ログを活用すべきか？
- コロナ期の経験をニューノーマルの教育に活かす工夫や希望、アイデア

学生向けアンケート

- コロナ期に行われたオンライン授業によって、デジタルを活用した**学習の便利さや柔軟性、効果**を体験した
- 学生間のコミュニケーションや課外活動の制限など、**インターネットを用いた学習の難しさ**を実感した
- それぞれの学生が、ニューノーマルに**どのような学習を期待しているか**を調査する



学生向け調査項目 全15項目

• コロナ期における学習状況

- 受講した授業におけるオンライン授業（同期・非同期）の割合
- オンライン授業のメリット・デメリット
- LMSの便利な点と改善点
- 研究・留学・課外活動等が受けた影響
- ボランティア活動（ITサービスの支援など）

• ニューノーマルにおける多様な学びのあり方

- コロナ期の学習で楽しかったこと、辛かったこと
- 優れている、または改善の必要があった講義や実習
- ニューノーマルの教育に望むこと、希望やアイデア

教務系職員向けアンケート

- コロナ期に行われたオンライン授業や感染防止対策によって、**教務系職員の業務は大きく変化した**
- デジタルを活用した教育の可能性が認識され、**教育・業務DXの期待が高まった**
- コロナ期において**新たな業務が発生し、負担が増大した**



教務系職員向け調査項目 全11項目

- **コロナ期における教務系業務の変化**
 - 学内組織において発生した問題
 - 学内組織において発生した新たな業務
 - LMSの導入・利用増は教務系業務の効率を改善したか
 - コロナ期において教務系業務が変化した点

教務系職員向け調査項目 全11項目

- **ニューノーマルにおける教務系業務のあり方について**
 - オンライン教育やメタバースなどを用いた多様な学びのスタイルを提供すべきか？
 - 多様な学びのスタイルを実現するために実施すべき業務
 - 多様な学びのスタイルを実現するための阻害要因
 - 新たな感染症の拡大など不測の事態に対応する体制が改善したか
 - 新たな感染症の拡大など不測の事態に対応するための懸念、問題点
 - コロナ期の経験をニューノーマルの教育に活かす工夫や希望、アイデア

今後の予定

- 本日いただいたご意見を踏まえて**調査項目を改善**
- 教育DXシンポ等を経由して**アンケート調査を実施**
- 教育DXシンポにて**調査結果を公表**

- **アンケート調査にご協力ください**

よろしくお願ひします

